

平成27年8月6日

各 位

井関農機株式会社

## 平成27年12月期 第1四半期連結業績 補足資料

(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

## 1. 連結第1四半期損益

(億円、%)

	27/3期 第1四半期 実績	27/12期 第1四半期 実績	前期比増減		27/12期 第1四半期 計画	計画比 増減
			金額	率		
売上高	492	342	△150	△30.5	334	+8
国内	435	265	△170	△39.0	264	+1
海外	57	77	+20	+34.1	70	+7
売上総利益	133	114	△19	△14.4	117	△3
粗利率	27.1%	33.3%	+6.2%	—	35.1%	△1.8%
販管費	113	111	△2	△1.9	113	△2
営業利益	20	3	△17	△86.5	4	△1
金融収支	△2	△2	—	—	△2	—
他営業外	0	3	+3	—	1	+2
経常利益	18	4	△14	△78.0	3	+1
特別利益	6	2	△4	—	2	—
特別損失	0	0	—	—	△1	+1
税前四半期純利益	24	6	△18	△74.9	4	+2
税、税調整額他	△11	△5	+6	—	△3	△2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13	1	△12	△89.2	1	—

- 第1四半期連結業績は、国内販売会社を中心とする12月決算会社の1-3月、井関農機他従来3月決算会社の4-6月業績を連結しております。

## 1) 前年同期比

## (1) 売上高：前年同期比150億円減収の342億円 (△30.5%)

- 国内売上高は、前年同期比170億円減収の265億円 (△39.0%)

前年1-3月は、不需要期ながらも消費税率引き上げ前の駆け込み需要で大きく増加したことなどにより、今期は前年同期と比べ農機製品全体で90億円の減収となりました。なお、国内販売会社の4-6月の農機製品実売は、前年比127%と回復基調となっております。

作業機は、農機製品に連動して31億円の減収。施設工事は、前年同期に大型物件の完成があったことから24億円の減収。その他についても、前年同期は農業資材の駆け込みがあったこと等により17億円の減収。

- 海外売上高は、前年同期比20億円増収の77億円 (+34.1%)

製品地域別には、欧州市場は新商品投入や90周年キャンペーン効果等に加え、新規連結したキセキフランス社の売上も寄与し、17億円増収。

北米市場は新規投入したエコノミートラクタの出荷が好調なことから3億円の増収。中国市場は、中国の連結子会社が前期第1四半期末より連結対象から除外となったことから4億円の減収となっておりますが、春需要期における販売は田植機を中心に前年を大きく上回っております。

その他アジアは、タイ向けの出荷増等で3億円増収。

(2) 営業利益：前年同期比17億円減益の3億円 (△86.5%)

経常利益：前年同期比14億円減益の4億円 (△78.0%)

- ・ 営業利益は、退職給付会計基準変更時差異の償却終了に伴う人件費等、固定費の減少があったものの、減収による粗利益の減少等により、17億円減益の3億円。
- ・ 経常利益は、営業利益の減少17億円があったものの、為替差益の計上等により14億円減益の4億円。

(3) 税前利益：前年同期比18億円減益の6億円 (△74.9%)

親会社株主に帰属する四半期純利益：

前年同期比12億円減益の1億円 (△89.2%)

- ・ 税前利益は、当期において投資有価証券売却益の計上があるものの、前期には中国現地法人の現物出資に伴う持分変動利益の計上があったこと等から、18億円減益の6億円。

## 2) 計画比

(1) 売上高：計画比8億円増収の342億円

- ・ 国内売上高は、ほぼ計画通りに推移。
- ・ 海外売上高は、北米市場は、新規投入したエコノミートラクタの出荷が好調なことから5億円増収。欧州市場は需要が堅調で3億円増収。全体で計画比7億円の増収。

(2) 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

- ・ 各利益は、ほぼ計画通りに推移。

(売上内訳)

(億円)

		27/3期 第1四半期 実績	27/12期 第1四半期 実績	前期比 増減	27/12期 第1四半期 計画	計画比 増減
国	農業機械	219	129	△90	128	+1
	作業機	71	40	△31	40	—
	補修用部品	33	25	△8	25	—
	施設工事	27	3	△24	3	—
	その他	85	68	△17	68	—
	計	435	265	△170	264	+1
海	北米	21	24	+3	19	+5
	欧州	21	38	+17	35	+3
	中国	6	2	△4	1	+1
	その他アジア	2	5	+3	5	—
	豪州他	1	1	—	1	—
	製品計	51	70	+19	61	+9
	補修用部品	4	5	+1	9	△4
	その他	2	2	—		+2
計	57	77	+20	70	+7	

## 2. 平成27年12月期 業績予想

- ・ 当第1四半期は、ほぼ計画通りに進捗しており、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想については、修正しておりません。

### 【平成27年12月期第2四半期累計期間連結業績予想】

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(億円、%)

	27/3期 第2四半期 累計実績	27/12期 第2四半期 累計予想	増減	
			金額	率
売上高	824	780	△44	△5.4
営業利益	10	18	+8	+71.7
経常利益	15	17	+2	+14.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	13	9	△4	△32.9

### 【平成27年12月期通期連結業績予想】

(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(億円、%)

(ご参考)

	27/3期 調整後※	27/12期 業績予想	増減	
			金額	率
売上高	1,457	1,520	+63	+4.3
営業利益	△3	39	+42	—
経常利益	10	37	+27	+270.0
親会社株主に帰属する 当期純利益		21		

27/3期 実績(億円)
1,574
△5
5
△3

\* 想定為替レートは、対米ドル115円、対ユーロ130円。

### 【平成27年12月期期末配当予想】

1株当たり3円の期末配当を予定しております。

(ご参考)

- ・ 中国事業の売上高を含むグループ全体の海外売上高予想

(億円、%)

(ご参考)

	27/3期 調整後※	27/12期 業績予想	増減	
			金額	率
海外売上高	201	280	+79	+39.3

27/3期 実績(億円)
288

※「27/3期調整後」は27/3期実績の対象期間を26年4月～12月に調整しております。詳しくは、P4 <ご参考資料> をご覧ください。

以上

<ご参考資料>

平成27年12月期決算の概要について

1. 決算期の変更について

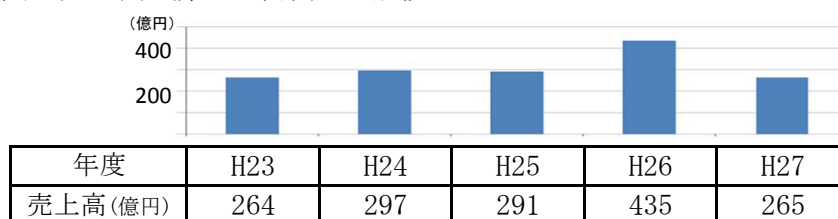
- ・ 当社は、平成27年度より決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更いたします。経過期間となる平成27年12月期の連結期間は次のとおりです。
  - ・ 従来12月決算会社：平成27年1月1日～平成27年12月31日の12ヶ月間
  - ・ 従来 3月決算会社：平成27年4月1日～平成27年12月31日の 9ヶ月間
- ・ 四半期毎の連結期間

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
a. 従来12月決算会社 国内販売会社 他	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
b. 従来3月決算会社 井関農機 他				第1四半期			第2四半期			第3四半期		
連結決算(累計期間)				第1四半期 a 1-3月 b 4-6月			第2四半期 a 1-6月 b 4-9月			本決算(通期) a 1-12月 b 4-12月		

2. 第1四半期連結業績のポイント

- ・ 第1四半期連結業績は、国内販売会社を中心とする12月決算会社の1-3月、井関農機他従来3月決算会社の4-6月業績を連結しております。
- ・ 売上高の特記事項
  - ① 国内売上高は、前期において消費税率引き上げ前の駆け込み需要があったことから大幅な増加があり、今期は逆に減少となりました。

<国内売上高（第1四半期）の推移>



- ② 海外売上高は、前期との連結範囲に変更があります。
  - ・ 欧州において、平成26年7月から子会社となったキセキフランス社の1-3月実績を新規連結しています。
  - ・ 中国において、前期第1四半期に連結対象であった子会社を前期第1四半期末より持分法適用会社としたことで、今期第1四半期は連結対象外となっております。

3. 通期連結業績予想の比較について（27/3期調整後実績との比較）

- ・ 前年度業績との比較を同条件で行うために、平成26年度実績の対象期間を同期間に置き換えた「27/3期調整後」と比較しております。
  - ・ 12月決算会社：平成26年1月1日～平成26年12月31日の12ヶ月間
  - ・ 3月決算会社：平成26年4月1日～平成26年12月31日の 9ヶ月間

以上